

採用・賃上げへ収益増急ぐ

水谷電機工業・水谷典央社長

賃上げする企業が増えてい
る。東京商工リサーチによる
と、2024年度に賃上げ予
定の企業は85%を超え、16年
度以降の最高を更新した。背
景には人手不足や物価高があ
る。しかし中小企業にとって
優秀な社員は欲しいものの、
人件費の高騰を収益増でカバ
ーできるかどうか課題とな
っている。新市場の開拓や製
品の付加価値向上に一層努め
なければならぬ。

当社は半導体の熱を逃がす
放熱器の専業大手メーカー
だ。主に放熱特性の良いアル
ミを加工している。テレビや
エアコン、冷蔵庫といった家
庭にある身近な製品から工作
機械、ロボットなどのモータ
ーの制御装置、通信基地局の
産業機械に至るまで幅広く組
み込まれ、製品の安定性、信
頼性の向上に貢献している。
新市場の開拓はまず東南ア

中堅・中小の現場から

海外開拓・付加価値向上で実現



《会社概要》
▽本社 東京都千代田区
▽事業概要 放熱器(ヒートシンク)の
製造販売
▽創業 1967年7月
▽従業員数 79人(国内のみ、2024年
2月末時点)
▽売上高 19億8400万円
(単体、23年3月期)

ジアで検討している。当社は
日系電機メーカーの海外への
生産移転に歩調を合わせ、1
996年にテレビやVTR、
オーディオ機器の工場が多い
マレーシアに工場を構えた。
グループの量産品の生産拠点
として順調だったが、23年は

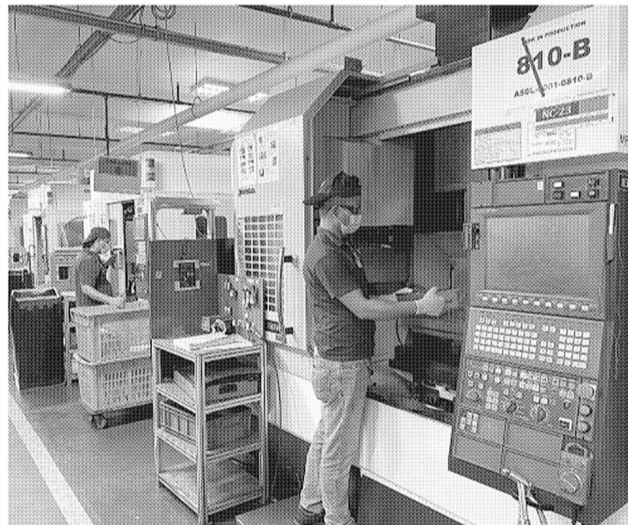
アジアで検討している。当社は
日系電機メーカーの海外への
生産移転に歩調を合わせ、1
996年にテレビやVTR、
オーディオ機器の工場が多い
マレーシアに工場を構えた。
グループの量産品の生産拠点
として順調だったが、23年は

理由が減少に転じた。一方、日本では製品の付加
価値向上が急務だ。静岡県
御殿場市と裾野市に分散して
いた工場と技術センターのう
ち、前工程のアルミ切断を除
削技術を生かし、自動車部品

市場への参入を視野に入れて
いる。

ロボット、医療機器、半導
体検査装置などの熱対策向け
に放熱性能を30〜40%向上さ
せ、空冷方式として最高レベ
ルを達成した「ヒートレイン」
を提案している。

や、大型のLED照明向けに
照射方向が変わっても効率よ
く放熱する放熱器の製品改良
にも取り組んでいる。一方、
も努めたい。



水谷電機工業は新市場の開拓に向けてタイで工場
の新設を検討している(同社のマレーシア工場)